

総務委員会の活動内容と今後の展望

総務委員長 小松ソフィア病院薬剤科長 中山貴央

今回、委員会の活動内容をみなさんに知ってもらう機会を頂き感謝いたします。

総務委員会は石川県病院薬剤師会委員会規定では会員全般と薬剤業務に関する事項及び福利厚生に関する事項となっていますが、具体的な活動内容をご紹介します。

大きな活動の一つは石川県病院薬剤師会生涯研修認定制度のとりまとめです。会員のみなさんが研修会、講習会に参加して集めたシールや研修記録を専用の用紙に記録して総務委員会に提出されたものを精査し不備などを確認した上で日本病院薬剤師会に提出しております。令和3年度分は105名の申請がありました。これは石川県病院薬剤師会会員の約20%の数字です。申請のあったものは極力申請が通るよう対応しておりますので、研修会参加のモチベーションアップのためにぜひ利用して下さい。コロナ禍で研修がオンライン中心となりコロナ前と比べて申請数が2-3割減少しており申請数を増やせるよう検討してきたいと思っております。また生涯研修認定制度のとりまとめの課題としまして、シールの発送に手間と予算がかかるため研修シールの継続を含めて対応を検討することが課題となっております。日本病院薬剤師会の病院薬学認定のシールとの兼ね合いもあり石川県病院薬剤師会のみでの対応では難しいのですが今後対応していきます。

総務委員会の固い業務はここまででして、福利厚生に関してのレクリエーション企画が実は一番大きな活動となっています。

その一つは1年に1回5月下旬～6月上旬に北陸三県野球大会の規格・運営があります。内容としましてはその名の通り石川・富山・福井チームが集まっての野球大会です。石川県病薬野球チームは一時期メンバーの高齢化（笑）のため優勝から遠ざかっていましたが、2019年はメンバーの若返りに成功し優勝しました。これ以降は新型コロナウイルスの影響で中止となっており、来年度以降大会が開催されれば野球の経験を問いませんので気軽に参加お願いします。今後の展望としまして、数年前から福井県病院薬剤師会チームが人数不足で不参加となっています。しかしこの大会は数少ない他県の薬剤師会との交流の場ですので大会自体を大切に継続していきたいと思っており、福井県病薬も参加のできるイベントを今後検討していきたいと思っております。

もう一つの大きな行事として1年に2回（8月・2月）のボウリング大会の規格・運営を行ってまいりました。こちらは少ない参加費で豪華な景品もあり、女性や小学生以下にはプラスハンデ、過去3年間で3位以内の入賞者・マイボール使用者にはマイナスハンデなどの工夫をすることでどなたにも優勝できるようにしており、子供連れでの参加も多く、毎回40-50人程度の参加を頂き盛況となりました。こちらの課題としましては、多くの参加は頂いているのですが金沢での開催ということもあり、能登地区・加賀地区や小さい施設の会員の参加は少ない状況となっており、それを解消する検討しておりました。2019年度以降コロナ禍のため中止となっておりますが、今後再開できましたら会員同士の親睦や情報交換、また日頃の運動不足の解消や家族サービスの場としてご活用ください。

2021年度よりボウリング大会の代替企画として川柳大会を毎年8月に開催し始めました。こちらも好評であり過去2度の開催ですがボウリング大会以上の参加をしていただき、ボウリング大会の課題であった能登地区・加賀地区や小さい施設の会員も多数参加していただきました。こちらも会員、会

員家族（大人の部）、会員家族（子供の部）と分けて開催し誰でも上位入賞できるようにし、多くの景品も用意しました。こちらも施設の親睦、家族の団欒に利用していただけたらと思います。今後はボウリング大会と川柳大会はコロナの状況次第ですが年に1度ずつとするなどの検討をしていきたいと思っております。

以上が総務委員会の主な活動です。会員の方々に委員会活動の内容を知っていただくことで今後の行事の参加者を増えることを願っております。